

ヨブ記、箴言、伝道の書
結晶の学びアウトライン
標語

神がご自身を愛する者を対処する目的は、彼らが神以外のすべてを失うことを超越して、最も満ち満ちた程度にまで神を獲得することであり、また神が彼らを通して表現されて、神が人を創造した目的が成就されることです。

ヨブは良い人であり、自分自身の完全さ、正しさ、高潔さを表現しましたが、神の意図は、ヨブを減少させて無にならせつつも、彼の生存を保ち、神が彼の中へと分け与えられ、ヨブが神・人となり、神聖な属性を表現することでした。

神の聖なる民を対処する神の目的は、彼らがすべてを空にされて、神だけを彼らの獲得として受け入れることです。神の心の願いは、彼らが神を命として、命の供給として、彼らの存在のすべてとして、完全に獲得することです。

神の選ばれ贖われた人がキリストを、神から彼らに与えられた知恵として経験し、キリストの豊富にあずかり享受するとき、これらの豊富は彼らを召会に構成します。そして召会を通して神の多種多様な知恵は、天上の天使である支配たちや権威たちに知らせられます。

ヨブ記の大いなる質問と大いなる答え

聖書：ヨブ 1:1. 10:2 後半, 13. エペソ 3:9. ヨブ 42:5-6

- I. ヨブ記の四十二の章は、わたしたちに大いなる質問を残します。この質問には二つの部分があります。すなわち、神が人を創造した目的は何でしょうか？ そして神が彼の選ばれた民を対処する目的は何でしょうか？——ヨブ 1:1. 10:2 後半, 12-13. 参照、11:12. 13:4 :
- A. ヨブは神にこう言いました、「なぜあなたがわたしと争われるのか、知らせてください」（ヨブ 10:2 後半）。「あなたはこれらの事を、あなたの心に秘めておられました。わたしは、これがあなたと共にあるのを知っています」（13 節）。
- B. これは以下の事を示しています。すなわち、ヨブは、神が自分を対処する理由を見いだすことができなかつたが、神の心には秘められたいくつかの理由があるに違いないと信じたということです。神の心に秘められていた事は、各時代の奥義、すなわち、神の永遠のエコノミーでした——エペソ 3:9。
- II. この大いなる質問に対する大いなる答えは、神の中に各時代にわたって隠されてきた奥義、神の永遠のエコノミーです。神の永遠のエコノミーとは、神の永遠の意図と神の心の願いであって、それはご自身を神聖な三一において、御父として、御子の中で、その霊によって彼の選ばれた人々の中へと分与して、彼らの命また性質とならせることです。それによって、彼らは有機体、新しい人としてのキリストのからだとなり、また神の豊満、神の表現となって、新エルサレムにおいて究極的に完成します——I テモテ 1:3-4. エペソ 1:22-23. 3:9, 19. 創 1:26. イザヤ 43:7. ローマ 8:29. I ヨハネ 3:2 :
- A. ヨブと彼の友は、ヨブが苦難を受けているのは神の裁きの事柄であると思いましたが。しかしながら、ヨブの苦難は神の裁きではなく、神が彼をはぎ取り、消耗し尽くすことでした。それは神がヨブを獲得し、ヨブが神をさらに獲得するためでした。
- B. 神はヨブをはぎ取っていましたが、確かにヨブに対して怒っているのではありませんでした。神はヨブを仇と考えていたのでもなく、ご自身の親密な友と考えました——ヨブ 19:11. 参照、10:13。
- C. 神は、ヨブが苦難の時を経過した後、神聖な三一をもって再建されることを知っていました。それはヨブが別の人、すなわち、新しい人、新創造となって（ガラテヤ 6:15）、神の永遠のエコノミーを完成し、神を表現することができるためです（II コリント 5:17）。これがヨブ記における大いなる質問に対する大いなる答えです。
- D. わたしたちは聖書を読むとき、神聖な分与のための神の永遠のエコノミーに注意を集中させる必要があります。わたしたちは神のエコノミーを認識することがない限り、聖書を理解することはないでしょう。ヨブに対する神の意図は、ヨブを、神の神聖なエコノミーにしたがって、神をもって構成された神の人と

することでした：

1. 聖書の六十六巻はただ一つの事のためです。それは、神がご自身をキリストの中でのその霊によって、わたしたちの中へと分与し、わたしたちの命、性質、すべてとなり、わたしたちがキリストを生き、キリストを表現することです。この事は、わたしたちの生活を支配する原則であるべきです——ヨハネ 10:10 後半、I コリント 15:45 後半、ローマ 8:2, 10, 6, 11、ピリピ 1:19-21 前半、II コリント 3:6。
2. 神がヨブを対処することは、ヨブを倫理の領域から、神を獲得する領域の中へともたらすことでした。それは、ヨブが倫理における完全さを追い求めることから、その他のどんなものでもなく、神を追い求め獲得することに向きを変えるためでした。人が神の御前に立つことができるのは、その人がどれほど神を獲得したかに基づいています——詩 27:8、105:4、ピリピ 3:8、マタイ 25:3-4, 9、箴 23:23、啓 3:18、II コリント 3:18、4:17、I ペテロ 2:7、ダニエル 5:27、9:23、10:11, 19。
3. 神が彼の聖なる民を対処する目的は、彼らがすべてを空にされて、神だけを彼らの獲得として受け入れることです。神の民が、他のどのようなものでもなく、ますます神を獲得し、神にあずかり、神を所有し、神を享受することを、神は願っています。ついには、彼らの享受は最も満ち満ちた程度にまで達して、彼らを新エルサレムとならせます——マタイ 5:3、詩 43:4、73:25-26、ピリピ 3:8-9、啓 21:2。
4. この事は、新約全体の内在的な意義であり、神が人を創造することでの、また神の選ばれた民を対処することでの神の目的に関する、ヨブ記の大いなる質問に対する大いなる答えです。

III. ヨブの基本的な問題は、ヨブが神に欠けていたことでした。ヨブに対する神のすべての対処の意図は、ヨブを減少させて無にならせつつも、彼の生存を保つことでした（ヨブ 2:6）。それは神がご自身をヨブの中へと分け与える時間を持つためでした。神は一つの事だけを顧慮しています。それは、彼ご自身をわたしたちの中へと造り込むことです（エペソ 3:16-19）：

- A. ヨブは自らを義しい者とし（ヨブ 6:30、9:20、27:5-6、32:1）、自分の状態に満足していましたが（13:3、23:3-4、31:6）、自分が神の御前でみじめな状況にあることに気づいていませんでした（参照、啓 3:16-18）。
- B. ヨブの栄光は彼の完全さと正しさであり、彼の冠は彼の高潔さでした。神はヨブの栄光を彼からはぎ取り、冠を彼の頭から取り去りました（ヨブ 19:9）。ヨブの望みは、彼の高潔さという「木」を建て上げることでしたが、神はそのような木がヨブの内側で生長することを許しませんでした。むしろ、神はこの木、すなわち、この望みを引き抜きました（10 節）。それはヨブが神を獲得する領域の中へともたらされるためでした。
- C. 神は、ヨブが間違った領域にいるのを知らせることを願いました。この領域は、彼の完全さ、正しさ、高潔さにおいて、旧創造にある人としての彼自身を建て

上げる領域です。ヨブはこれらのことで自分を栄光ある者とししました。しかし神は、それらが妨げであって、はぎ取られるべきであると考えました。それは、ヨブが神の性質、命、要素、本質を受け入れ、こうして新陳代謝的に造り変えられて、神・人、すなわち新創造の中で神を表現し、神を他の人の中へと分与する人となるためでした——Ⅱコリント 3:18. I ペテロ 4:10. エペソ 3:2。

D. ヨブに対する神の意図は、完全さと正しさにおける天然のヨブを取り壊し、神が神の性質と属性において新しくされたヨブを建て上げることでした。聖霊の管理は、わたしたちの天然の存在を取り壊して、新しくされた存在を構成します——Ⅱコリント 4:16-18. ローマ 8:28-29。

E. わたしたちの内側でのその霊の働きは、わたしたちのために新しい存在を構成することであるのに対して、外側でのその霊の働きは、わたしたちの環境を通して、わたしたちの天然の存在のあらゆる面を取り壊すことです。わたしたちは、活動する霊と協力して、神がわたしたちのために案配した環境を受け入れるべきです——ピリピ 4:12. エペソ 3:1. 4:1. 6:20. I コリント 7:24。

F. この宇宙における苦難の主要な目的は、特に神の子供たちに関しては、苦難を通して神の性質が人の性質の中へと造り込まれ、最も満ち満ちた程度にまで人が神を獲得することです——Ⅱコリント 1:8-9. 4:16 :

1. 生ける神は人のために多くの事を行なうことができますが、生ける神の命と性質は人の中へと造り込まれません。復活の神が働くとき、彼の命と性質は人の中へと造り込まれます——Ⅱコリント 4:16。

2. 神が働いているのは、外側の行為においてご自身の大能を知らせるためではなく、ご自身を人の中へと分け与え、造り込むためです。神は環境を用いて、ご自身の命と性質をわたしたちの中へと造り込みます——ガラテヤ 4:19. Ⅱコリント 4:7-12. I テサロニケ 3:3. ヨハネ 16:33。

3. わたしたちは復活の中で生活して、復活の神で構成されるために、「すべて」を通して、神の長子であるキリストのかたちに同形化されなければなりません——ローマ 8:28-29. ヘブル 12:10. 参照、エレミヤ 48:11。

4. わたしたちは苦難のただ中にいるとき、神に対して苦情を言うかもしれませんが、わたしたちが苦情を言うことは、最高の祈り、神にとって最も喜ばしい祈りであるかもしれません。わたしたちが苦情を言っている間、神は喜んでいています。なぜなら、神はすべてを共に働かせて益とし、わたしたちがご自身の長子のかたちに同形化されるようにしているからです——参照、詩第 102 篇、タイトル。

IV. 人を神化し、神のエコノミーを完成し、神の団体的な表現を持つという三一の神の行動は、ミングリングされた霊の中に完全にあります。このミングリングされた霊は、神聖な霊とわたしたちの人の霊がミングリングされて、一となったものです——I コリント 6:17. 啓 1:10. 4:2. 17:3. 21:10. 参照、ヨブ 12:10. 32:8 :

A. わたしたちはクリスチャン生活において、霊によって生き、霊によって歩くべきです。わたしたちが行なうすべて、わたしたちであるすべては、霊によって、

霊をもって、霊の中で、霊を通してであるべきです。こうして、わたしたちは自分の霊を顧慮し、霊を活用することによってあらゆることを行なって、神聖な霊がわたしたちの中に生きること、わたしたちの中にご自身のホームを造ること、わたしたちを造り変えることを経験する必要があります——ガラテヤ 5:16, 25. ピリピ 3:3. ローマ 8:4, 6. II コリント 2:12-14. マラキ 2:15-16。

- B. わたしたちはすべてを含む霊から離れて、いかなる行動も取るべきではありません。わたしたちはその霊から離れて、いかなる境遇にも直面したり、いかなる必要にも応じたりすべきではありません。わたしたちは、わたしたちの霊の中で神聖な霊に触れることを学ばなければなりません。この事が、神のエコノミーを完成するためのクリスチャンの生活とクリスチャンの働きとの内在的な意義です——ゼカリヤ 4:6. II コリント 3:3, 6. ローマ 1:9. 7:6. ピリピ 3:3。
- C. クリスチャンと勝利者になることは単に難しいだけではなく、不可能です。わたしたちの中の、すべてを含む霊として、わたしたちの中に生きている、手順を経て究極的に完成された三一の神だけが、クリスチャンと勝利者になることができます——ルカ 1:37-38 前半. II コリント 4:13. ローマ 8:2。
- D. わたしたちはあらゆることをその霊にしたがって行なう限り、キリストの肉体と成ること、人の生活、死、復活、昇天とその霊の注ぎ出しを経験することができます。この事は、わたしたちを神の召会、キリストのからだ、新しい人、三一の神の有機体としての、ぶどうの木とその枝にならせて、新エルサレムにおいて究極的に完成します——ピリピ 1:19. ヨエル 2:28-32. 使徒 2:16-21. エペソ 1:22-23. 2:15. 4:4, 23-24. ヨハネ 15:1-11. 啓 3:12. 19:7-9. 21:2, 10。

V. 神がヨブに現れた時、ヨブは神を見て、彼の個人的な経験において神を獲得し、自分を忌み嫌いました——ヨブ 38:1-3. 42:1-6 :

- A. わたしたちの神は今日、手順を経て究極的に完成された三一の神の究極的完成としてのすべてを含む霊です。今日わたしたちが見ている神は、究極的に完成された霊です。わたしたちは霊の中で彼を見ることができます——II コリント 2:10. II テモテ 4:22 :
1. わたしたちが神を見るのは、神で構成されるためです。神を見ることは、わたしたちを造り変えます。神を見ることは、神を獲得することと等しいのです——II コリント 3:16, 18. マタイ 5:8. 啓 22:4。
 2. わたしたちは神を見れば見るほど、また神を愛すれば愛するほど、ますます自分自身を否み、憎むようになります——ヨブ 42:5-6. イザヤ 6:5. ルカ 14:26。
- B. わたしたちは神を見るために、わたしたちの霊を活用しなければなりません——エペソ 1:17-18. 3:16-17. I コリント 2:9-16. II コリント 4:13. I テモテ 4:7. II テモテ 1:6-7 :
1. わたしたちは霊の中で神を見つめれば見つめるほど、ますます神のすべての成分をわたしたちの内なる供給として、わたしたちの存在の中へと受け入れます——II コリント 3:16-18。
 2. わたしたちは患難のただ中で、わたしたちの霊に注意し、主をわたしたちの

住まい、また満ち足りていることの秘訣としなければなりません——Ⅱコリ
ント 2:13. 7:5-6. マラキ 2:15-16. 詩 91:1. ピリピ 4:11-13. 詩 90:1-12. 31:20.
イザヤ 32:2。

C. わたしたちは神を見るために、わたしたちの心を対処しなければなりません
——Ⅱコリント 3:16, 18. マタイ 5:8. 13:18-23 :

1. わたしたちは、神の聖なる言葉をもって再構成されることによって、わたしたちの思いの霊の中で新しくされて、神の言葉によって教えられ、統治され、支配され、制御されなければなりません——エペソ 4:23. 申 17:18-20. ピリピ 2:2, 5。
2. わたしたちは主の愛をもって燃えて、主で満たされた感情を持ち、主の家のために熱心にならなければなりません——ピリピ 1:8. Ⅱコリント 5:14. Ⅱテモテ 1:6-7. ヨハネ 2:17. マルコ 12:30。
3. わたしたちは、わたしたちの意志がキリストによって征服され、また苦難を通してキリストをもって造り変えられるようにしなければなりません。それは、わたしたちの意志がキリストの頭首権に服従するためです（ピリピ 2:13. 参照、雅 4:1, 4. 7:4 前半, 5）。そしてわたしたちは、キリストのとても尊い、清め、純粹にする血によって、正しい純粹な良心を維持しなければなりません（使徒 24:16. Ⅰテモテ 3:9. ヘブル 9:14. 10:22）。

VI. 神がご自身を愛する者を対処する目的は、彼らが神以外のすべてを失うことを超越して、最も満ち満ちた程度にまで神を獲得することであり（ピリピ 3:7-8）、また神が彼らを通して表現されて、神が人を創造した目的が成就されることです（創 1:26）。